

「ふるさと 港南の歴史かるた」 を作ろう

読み札募集!

かるた作りを通して「ふるさと港南」の歴史を
次の世代へ伝えよう

港南の歴史50選を題材にして17文字で表現してください

港南区は2019年10月に区制50周年を迎えます。港南区に生まれて、港南区を「ふるさと」とする人が人口の半数を超えました。港南区を「ふるさと」と心から言えるよう、ふるさと港南の歴史をみつめて、ふるさとへの思いを深めていただきたく、「港南の歴史かるた」づくりを計画しました。多くの方のご参加をお待ちしています。



応募要項

かるたの読み札を募集します。審査のうえ、読み札の作品を選びます

- 1) 港南区に在住、在勤、在学の方とします
- 2) 5-7-5の17文字を原則としますが、形式、季語の使用は自由とします
- 3) はがきに作品を書いて、右記の「応募方法」を参照のうえ必要事項を記入してお送りください
*おひとりでも応募いただけますが、はがき1枚に3作品までお書きください
- 4) 「港南の歴史かるた史跡50選」(裏面参照)の歴史スポットを題材にして応募してください
*歴史スポットの場所と内容は、港南歴史協議会ホームページまたは、港南区発行の「ふるさと港南のまち自慢ガイドブック」、「ひまわり港南ウォークVI」を参照してください(区役所1F案内所にあります)
- 5) 応募された作品は審査のうえ添削させていただくことがあります

スケジュール

2019年7月～2010年3月

- 1) 募集期間 2019年7月11日～9月15日
- 2) 審査 2019年10月～12月
- 3) 発表 2019年12月(歴史協議会ホームページにて)
- 4) 発表イベント2020年3月

応募方法

- 1) はがき1枚に3作品を楷書で書いてください
- 2) 応募者の①氏名(ふりがな)②郵便番号、住所③TELまたはFAX番号を書いてください
- 3) 宛先:〒234-0052 横浜市港南区笹下3-21-12 ふるさと港南の歴史かるたをつくる会 北見繁男宛
- 4) 問合せ: TEL/FAX 045-823-6117 TEL 090-9978-1217
メール yoshio52@jcom.zaq.ne.jp (斎藤芳男)

*個人情報は当会の運営のみに使用します

主催: ふるさと港南の歴史かるたをつくる会

共催: 港南区制50周年記念事業実行委員会

協力: 特定非営利活動法人港南歴史協議会/横浜かびれ会/えるむの会

後援: 港南区役所/港南区社会福祉協議会

協賛: 上大岡駅前郵便局/株式会社タテノプランニング/株式会社 宮島運輸

詳しくはこちらをご覧ください
[港南歴史協議会ホームページ]

<https://konanrekishi.home.blog>



「港南の歴史かるた」史跡50選

詳しくは「港南歴史協議会ホームページ」をご覧ください
<https://konanrekishi.home.blog>



上大岡～港南中央

青木神社

江戸時代の洪水で大岡川の流がかわり、大久保の飛び地にある神社で、盗人の宮と呼ばれた。伝説上の怪獣ぬえが宮を移動させたなどの昔話がある。幕末・明治初期に奉納された俳句の額が残る



真光寺

奈良の東大寺にあやかって、魚の尾の形をした装飾「しび」を備えた大屋根が特徴の、区内最古の古刹

黒船見物の丘

幕末ペリーの黒船が来航した時、根岸湾や横浜港付近に来た黒船を見に多くの人が集まった丘の頂

戦没者慰霊堂と平和祈念館

慰霊堂は県民の平和愛好の象徴として、戦没者及び戦災死者の遺骨と名簿が納められたお堂で昭和35年に建てられた。平和祈念館は戦争の資料・遺品や遺骨収集資料を展示。平成7年に建てられた。境内は桜の名所

餅井坂

「鎌倉下の道」の難所、旅人が休憩し餅が食べられると期待していたが、名前だけで何もなかったという

桜岡小学校

明治に開校した港南区4校の1つ。明治45年開校。郷土資料館があったが閉鎖され、資料は市歴史博物館へ

為朝の碑

鎮西八郎源為朝が保元の乱に破れ伊豆大島に流されたが、流刑地を脱出してここに隠れ住んだといわれ、字名は八郎が谷と呼ばれるようになった

岡本橋

横浜開港に伴い鎌倉方面からの往來が増えたため、近郷近在の人々が協力して道路整備を行い、金沢道につながるための橋を造った記念碑。上大岡村と松本村を結ぶ橋で、村名から1字ずつ取って岡本橋と名付けた

鹿島神社

節分に「的射」やどんと焼き等の伝統行事が行われる。江戸時代、女性7人を含む村人が西国・坂東・秩父の百観音を巡礼した供養塔がある

自性院

勘九郎という旅役者が旅の途中殺されたのを哀れんで、村人が建てた勘九郎地藏があり、やはり病はこの地藏に祈願すれば治ったといわれる

東福寺

港南の地は横浜の花どころといわれ、生花商組合が建てた花塚がある。区内最古の庚申塔あり

雑色杉本遺跡

縄文時代の住居跡や遺物が発掘され、動物捕獲用の落とし穴が26基発見された。現在は世下中央公園

成就院

戦国時代北条氏の武将間宮氏が築いた世下城の一面にあり、門前に空堀跡がある。山門は陣屋の門を移築したといわれる。幕末鎌倉で英国士官を殺害して処刑された間宮一（まみやはじめ）の墓がある

笹下城址

房総の里見氏対策として北条氏の武将間宮氏が築いた城。本城は港南区と磯子区洋光台1丁目にまたがる丘陵にあり、笹下川を外堀として築かれていた

かわじまの堰

洪水対策として、室町時代の土豪北見掃部の屋敷跡地に堰が造られた。刑務所方面の農業用水の取り入れ口であった

日野川取水所

日野川の洪水対策として、日野立体付近の日野川の水をひまわりトンネルの地下を通して笹下川に流すもの

取水庭公園

日野川と笹下川の余剰水を根岸湾へ直接放流するための、日野川との合流場所

日野公園墓地

墓地の面積を30%に抑えた近代的な公園墓地で昭和8年完成。美空ひばり、南極探検の白瀬中尉等が眠る

春日神社

1099年創建の市指定文化財。建物の隅々に鎌倉彫の彫刻がある「彫刻の神社」。石仏類多数あり

徳恩寺

平安時代ある僧が万病に効く泉を発見し、ここに庵を建てたのが始まり。春日神社を管理していた。長屋門と数十年前に1度花が咲くリュウゼツランがある

日下小学校

明治に開校された、港南区4校の1つ。明治36年開校。郷土資料館が開設されている



日野小学校

明治6年開校した港南区最古の小学校。郷土資料館が開設されている

光明寺

昌福寺から受け継いだ聖観音立像がある。桂の一木造りの平安仏で区内最古の仏像。市指定文化財

八体地藏

厄除け地藏とともに祀られていた2体の地藏が6地藏に移設されて8体の地藏となり、今も信仰されている

芹が谷～上永谷

殿屋敷遺跡群

弥生時代の堀に囲まれた環濠集落と、方形周溝墓が発掘された遺跡群。出土品は永谷地区センターに展示

神明社

七観音塔・狛犬・西南戦没軍人の碑・七夜待塔・道祖神等の多数の石造物がある

般若寺

男女2神が並ぶ道祖神がある。右側の女性は妊娠を表現していると伝えられ、はらみ道祖神として有名

武相国境表示の道標

芹が谷1丁目の武相国境に建てられた念仏供養塔で、「武州相州境道」と刻まれた道標。市の指定文化財

永野小学校

明治22年永谷小学と野庭学校が合併して開校。勝海舟の「永谷学校」の扁額がある

永谷天満宮

菅原道真が自らの姿を彫った木造を祀る日本三體天満宮の一つ。神輿が江戸城に入り将軍が拝礼。石造物等多数

貞呂院

天満宮を管理していた。勝海舟の扁額「眠雲」、江戸時代のおみくじ版木がある。永谷学校を創設した平野玉城の墓がある

馬洗い川

源頼朝の妻北条政子が弘明寺へお参りする途中、この川で馬を洗ったという伝承がある

日限山～野庭

日限地藏尊

毎月4のつく日に限って祈願すれば、願い事がかなうといわれ、縁日で賑わう

丸山台の石仏

丸山台の開発区域に在った石仏を町内会館に集めたもの。市指定文化財

地下鉄車両基地

敷地面積約5万㎡。地下鉄ブルーラインの車両基地・修理工場・教習所・信号所併設



関城

野庭中央公園付近の高台に、鎌倉時代の侍所別当和田義盛が築城したという伝承がある

野庭神社

臼井左衛門が吉野の蔵王権現を勧請し開基。頭に宝冠、直剣と弓で武装した日本武尊が御神体

浄念寺

お参りすれば咳が治る咳止め玄入坊の祠がある。かつて関城にあり鎌倉武士が鍛錬に使用した力石が残る

塚の占址

小田原落城の折、野庭に隠れて北条氏の再興を祈りながら亡くなった家臣の記念碑

織茂家長屋門

江戸末期に建てられた下野庭の織茂家の門で、名主屋敷の面影を残す

日野南～港南台

迎陽隧道

野庭地区の亜炭や農産物を出荷するため、7年かけ国境の岩盤を掘削し1908年に完成したトンネル。トンネルの東側出口から日の出の太陽の光が差し込んでくることにちなんで命名された

松ヶ崎横穴墓群

明期高校敷地内に、7世紀古墳時代終末期の横穴墓5墓がある。朝鮮半島からの渡来人の墓との説もある

小坪路の厄除地藏

強盗に殺された魚の行商人を供養するため建てられた大きな地藏で、日照りや疫病がはやく厄除け地藏として信仰された。人間の身勝手でも7回も移転を繰り返された

大山講常夜灯

大山に雨乞いに行った人達の帰りが遅くなった時の目印に、大山講の人たちによって建てられた常夜灯。港南台開発の時に受けた損傷が残る

新道路開削碑

織治ヶ谷の小岩井氏、日野の高梨氏等の協力で、現鎌倉街道七曲りの山越えの切り通しを切り開いた記念碑

笹下～日野

横浜刑務所

もと根岸にあった刑務所が関東大震災で被災したため、昭和11年肥沃な水田地帯に建設された。水洗トイレなど当時最先端の施設をもった。敷地内の慰霊碑は、戦争中南方の工事に動員された刑務官の悲劇を物語る

桜道

日野公園墓地裏門に至る桜道と関坂の参道に250本の桜が植えられ、桜の名所となった。「横浜名所港南の桜」の記念碑がある

東樹院

美女に化けたタヌキが、泊めてくれたお礼に茶釜を送ったという伝説がある。美女とタヌキの横浜焼きの像がある。隣にはかつて久良岐郡の郡役所や石川樓があり、久良岐郡の中心地として賑わった

鰻の井戸

鎌倉幕府の執権一族金沢実時が、2匹のうなぎが住んでいるこの水を飲み病が治ったといわれている

天照大神宮

世下城につながる松本砦の跡といわれる。笹下方面からは140段の急な石段になっている。講和記念碑や戦没者慰霊碑がある